

斯く我等は幾多の實踐を通じて、我等が光輝ある指導精神の勝利を確信すると同時に、全選信下級従業員の信赖に反かざるの用意がないはならぬ、我等は愈々負ふ所の責任重且つ大なるをおもひ、徒らに大言壯語する事なく、著々と現實に即し労働組合獨自の使命に邁進す可きである。輕佻なる觀念主義、浮誇な輕舉盲動は斷呼として排す可きだ、我等が今年度の行程で、原、古川兩君の除名を斷行したる所以も、實に此處に存する。

全選友の同志諸君、勤ぜざる確信とたゆみなき足取とを以て我等が光輝ある選友の盟旗を高く翳して、全選信従業員團結せよ!と強く叫べ。我等が行く手、驟々たる光明あるのみ。

昭和五年九月

日本労働總同盟會 會長 赤松克磨

所屬支部一覽表

(昭和五年八月廿日現在)

支 部	部 名	創 立	支 部	長	2 1 會幹事長	事 務 所
東 鳥 支 部	大正十四年十月	北 村 仁 悌				
牛 达 支 部	大正十四年十一月	飯 塚 朝 喜	島 村	根 岩 大 賢	東京市外西巢鶴庚申塚二四五	
下 谷 支 部	大正十四年十一月	海 老 原 智	池 安 川	谷 香 三	東京市牛込區矢來町一〇九矢來ビル内	
神 田 支 部	大正十五年三月	玉 井 與 助	山 田 川	西 葉 泰 之 作	東京市下谷區入谷町一〇六 新居方	
本 部 支 部	大正十五年四月	小 伎 若 吉	石 中 川	原 伸 万 治	東京市本郷區湯島町五ノ六 中里方	
赤 坂 支 部	大正十五年五月	岡 山 千 之 助	高 野 潤 正	田 伸 四 郎	東京市本郷區森川町五三	
淀 橋 支 部	昭和元年十一月	石 渡 六 藏	西 村 伸 一	本 藤 伸 一	東京市赤坂區塗町六五	
麻 布 支 部	昭和二年一月	濱 田 元 治	森 島 伸 秀	馬 直	東京市外大久保町四大久保五〇四	
中 野 支 部	昭和二年二月	浦 山 隆 行	森 田 嘉 太 郎	東京市麻布區新橋町一ノ五七 鈴木方		
品 川 支 部	昭和二年十一月	宮 尾 真 一	吉 田 中	澤 光	東京市外中野町本郷五一 青杉方	
寺 島 支 部	昭和三年四月	森 下 親 司	島 井 隆 成	周 京	東京市外世田谷大字堂九二	
世 田 谷 支 部	昭和三年五月	大 塚 長 作	高 橋 民 謙	安 田	東京市外世田谷大字堂九二	
落 合 支 部	昭和三年五月	大 塚 長 作	五十嵐 捌 進 生	東 京 市 外 鹿 戸 町 下 落 合 五 〇	平 山 方	
龜 戸 支 部	昭和三年五月	大 塚 長 作	千葉 要 松	東 京 市 外 鹿 戸 町 三 〇 二 三 七	塚 本 方	
杉 並 支 部	昭和三年五月	木 下 重 幸	高 橋 民 謙	東 京 市 外 南 品 川 町 一 五 一 七		
長 田 後 部	昭和三年五月	高 橋 民 謙	高 橋 民 謙	東 京 市 外 守 島 町 一 八 二	松 井 方	
前 津 井 部	昭和三年五月	高 橋 民 謙	高 橋 民 謙	東 京 市 外 守 島 町 一 八 二	松 井 方	
東 京 市 外 鹿 戸 町 三 〇 二 三 七	真 下 方					